

平成 29 年度

部局別予算要求のポイント

平成 28 年 11 月

高 山 市

- ・各部局の要求額は、人件費、繰出金及び予備費等を含んでいません。

危機管理室

要求額

単位：千円、%

会計名	平成28年度 当初予算額	平成29年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	176,174	133,819	△ 42,355	△ 24.04

主な増減理由

- ・ 防災行政無線屋外子局バッテリー更新工事の減 △ 37,000千円
- ・ 県防災行政無線整備費負担金の減 △ 14,600千円
- ・ 災害備蓄品拡充に伴う増 5,721千円

要求に関する基本方針

- 大規模災害を想定した実践的な防災訓練の実施
- 市民の生命・身体及び財産を災害から守るための体制の整備

要求のポイント

() は前年度予算額

<防災>

- 実践的な防災訓練の実施 4,824千円
(4,000千円)
 - 地震等を想定した実践的な防災訓練に必要な経費を計上
 - ・ より実践的な防災訓練の実施
 - ・ 訓練会場設営等委託
- 災害対策事業の推進 123,736千円
(166,920千円)
 - 災害の発生に備え、防災体制の充実を図るために必要な経費を計上
 - ・ 防災備蓄物資購入
 - ・ 防災エキスパートの育成
 - ・ 倒木被害防止のための道路沿線立木の伐採

企 画 管 理 部

要求額

単位：千円、%

会計名	平成28年度 当初予算額	平成29年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	894,861	895,374	513	0.06

主な増減理由

・大学連携センター（仮称）の設置による増	18,000千円
・ふるさと寄附贈呈品の増	75,000千円
・市制施行80周年記念事業の減	△17,400千円
・情報通信基盤整備の減	△34,268千円
・執行選挙の減	△56,470千円

要求に関する基本方針

- 第八次総合計画の着実な推進と市長公約の実現
- 開かれた市政（広報広聴）による市民とのよりよい関係づくり
- 簡素で効率的な行政運営や持続可能な行財政基盤の確立を図るための行政改革の推進
- 行政を取り巻く環境の変化に的確に対応できる職員の育成

要求のポイント

（ ）は前年度予算額

<協働>

- 行政情報の提供と広聴事業の推進

96,432千円
(105,574千円)

各種媒体による情報発信、政策検討市民委員会の開催等に必要な経費を計上

 - ・広報たかやまの発行、FM放送・CATV番組の制作
 - ・政策検討市民委員会及び市民と市長の対話集会の開催

<行財政運営>

- 大学連携の推進

18,160千円
(2,000千円)

大学連携事業に必要な経費を計上

 - ・大学連携センター（仮称）の設置、サテライトキャンパスの運営

○ ふるさと寄附の促進 184,370千円
(107,270千円)

ふるさと寄附の促進に必要な経費を計上

- ・ ふるさと寄附PR
- ・ ふるさと寄附贈呈品

○ 職員の意識改革と資質向上の推進 21,500千円
(19,900千円)

職員研修や人事交流に必要な経費を計上

- ・ 階層別研修をはじめ各種研修の実施
- ・ 省庁等への職員派遣
- ・ 施策実現に向けた先進地等視察研修

<情報>

○ 情報通信基盤整備の推進 6,257千円
(40,525千円)

CATV事業の整備促進等に必要な経費を計上

- ・ CATV事業者の情報通信基盤の整備に対する助成

財 務 部

要求額

単位：千円、%

会計名	平成28年度 当初予算額	平成29年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	5,753,668	5,921,217	167,549	2.91

主な増減理由

- ・市債残高の減少及び利率見直しによる公債費の減 $\Delta 233,700$ 千円
- ・久々野支所庁舎整備による工事請負費等の増 $403,605$ 千円

要求に関する基本方針

- 第八次総合計画の着実な推進と市長公約の実現
- 社会情勢の変化や行政課題に対応した財産管理の推進
- 公平な課税と税収納率の向上

要求のポイント

() は前年度予算額

<行財政運営>

- 庁舎等の適正管理と必要な整備の推進 $1,061,038$ 千円
($635,767$ 千円)
行政事務の円滑な実施に必要な経費を計上
 - ・ 庁舎、公用車等の維持管理
 - ・ 久々野支所庁舎の改築
- 財産管理の適正化と効率的な運用 $61,965$ 千円
($90,013$ 千円)
公有財産の適正な管理と未利用財産の活用や処分に必要な経費を計上
 - ・ 市営墓地の管理
 - ・ 市有施設の火災保険の加入
 - ・ 普通財産の管理や活用、処分のための測量業務
- 公平な課税と税収納率の向上 $75,076$ 千円
($72,400$ 千円)
固定資産税等の公平・公正な賦課を行うために必要な経費を計上
 - ・ 字絵図書替
 - ・ 家屋所在地番等調査
 - ・ 固定資産現況調査等
 - ・ 土地鑑定評価

ブランド・海外戦略部

要求額

単位：千円、%

会計名	平成28年度 当初予算額	平成29年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	128,914	219,953	91,039	70.62

主な増減理由

・飛騨地域3市1村広域連携による事業費の増	12,000千円
・インナーブランディング事業費の増	11,018千円
・外国語パンフレット等印刷費の増	4,955千円
・市民の国際化を促進する事業費の増	36,122千円

要求に関する基本方針

- 飛騨高山ブランドの確立に向けた施策の強化
- 誘客・物販・交流の相乗効果の創出
- 首都圏ネットワークの強化

要求のポイント

() は前年度予算額

<ブランド戦略>

- 飛騨高山ブランドの意識醸成と情報発信

42,367千円
(28,770千円)

飛騨高山ブランドの確立を図るために必要な経費を計上

 - ・飛騨高山フェアの開催による情報発信
 - ・市民や事業者等とのブランドコンセプトの共有

<東京事務所運営>

- 事業者等と連携した首都圏活動の展開

9,214千円
(9,334千円)

首都圏における情報収集や販路拡大などの活動に必要な経費を計上

<移住交流>

- 移住者への支援

16,840千円
(8,970千円)

移住促進を図るために必要な経費を計上

 - ・飛騨地域3市1村による首都圏における移住プロモーション等の実施

<海外戦略>

○ 効果の高い誘客・販売展開 67,485千円
(53,500千円)

外国人観光客の誘致促進・受入体制強化、輸出促進のために必要な経費を計上

- ・外国人が滞在しやすい環境の整備（無料公衆無線LANの運営）
- ・海外の国・地域のニーズにあった多言語サイトの運営
- ・多言語観光パンフレットの作成
- ・積極的な観光・物産プロモーション活動の実施

欧州へのプロモーションに必要な経費を計上

- ・コルマール国際観光旅行博、パリ国際観光旅行博への出展
- ・欧州旅行会招請の実施
- ・飛騨地域有償ガイドの養成

<国際交流>

○ 海外の国・地域とのつながりの強化 84,047千円
(28,340千円)

姉妹・友好都市との絆の強化を図るために必要な経費を計上

- ・姉妹・友好都市との交流の推進

国際化推進のために必要な経費を計上

- ・海外の国・地域との相互理解の促進

市 民 活 動 部

要求額

単位：千円、%

会計名	平成28年度 当初予算額	平成29年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,278,496	1,205,543	△ 72,953	△ 5.71

主な増減理由

・ 第2回飛騨高山文化芸術祭終了による減	△ 50,000千円
・ 生涯学習施設整備工事の減	△ 75,218千円
・ 高地トレーニングエリアの整備による増	70,670千円
・ 全国高等学校総合体育大会開催による増	10,019千円

要求に関する基本方針

- 協働のまちづくりによる地域課題の解決
- 平和に関する市民の取り組みの促進
- 豊かで活力あるまちづくりに活かされる生涯学習の推進
- 市民自ら自発的・主体的に創造する新たな文化芸術の振興
- スポーツに親しむことのできる環境づくりの推進

要求のポイント

() は前年度予算額

<協働>

- 協働のまちづくりの推進

281,858千円
(282,320千円)

地域づくり活動と市民活動を推進するために必要な経費を計上

- ・ まちづくり協議会による地域づくり活動への支援
- ・ 市民活動団体への助成
- ・ 町内会防犯灯の改修等の助成
- ・ 人材育成等に関する講座や研修会の開催
- ・ 町内会集会施設建設への助成

- 男女共同参画の推進

1,238千円
(1,202千円)

第4次高山市男女共同参画基本計画の着実な推進を図るために必要な経費を計上

- ・ 講演会や講座などの開催
- ・ ワーク・ライフ・バランスの推進

<交流>

- 平和に関する意識の醸成 5, 053千円
(7, 850千円)
- 平和に対する意識の高揚を図るために必要な経費を計上

<生涯学習>

- 生涯学習の推進 442, 328千円
(530, 337千円)
- 生涯学習機会の提供や生涯学習施設の維持管理に必要な経費を計上
- ・地域づくりにつながる学習機会の提供
 - ・子ども夢創造事業（科学）の実施
 - ・生涯学習施設の整備と維持管理

<文化芸術>

- 文化芸術の振興 64, 833千円
(106, 800千円)
- 文化芸術の市民生活への浸透と文化芸術の振興を図るために必要な経費を計上
- ・市民の自主的な文化芸術活動に対する支援
 - ・飛騨高山現代木版画トリエンナーレ（国際公募）の開催
 - ・美術展覧会等の開催
 - ・子ども夢創造事業（文化芸術）の実施
 - ・文化芸術鑑賞事業の実施
 - ・市民の笑顔と地域の活力を生む飛騨高山応援ソングの創作

<スポーツ>

- スポーツ活動の充実 26, 982千円
(18, 477千円)
- スポーツの振興を図るために必要な経費を計上
- ・全国高等学校総合体育大会の開催
 - ・子ども夢創造事業（スポーツ）の実施
 - ・スポーツ指導者の養成及びスポーツ教室の開催
 - ・スポーツ少年団活動、各種スポーツ大会開催に対する支援
- 体育施設の運営 235, 584千円
(262, 902千円)
- 体育施設の運営及び施設整備等に必要な経費を計上
- ・体育施設の運営、整備
 - ・体育施設整備に向けた調査
- 高地トレーニングエリアの充実 100, 056千円
(21, 934千円)
- 高地トレーニングエリアの利用促進を図るために必要な経費を計上
- ・トップアスリート受入体制の整備
 - ・高地トレーニングエリアの施設整備と利用促進

福 祉 部

要求額

単位：千円、%

会計名	平成28年度 当初予算額	平成29年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	8,946,428	9,318,462	372,034	4.16
介護保険事業特別会計	9,431,908	9,482,492	50,584	0.54

主な増減理由

・ 障がい福祉サービス給付費の増	67,206千円
・ 子育て住環境整備事業費の増	20,000千円
・ 保育所に要する経費の増	117,602千円
・ 国府児童館整備に伴う増	147,883千円
・ 臨時福祉給付金の減	▲90,000千円

要求に関する基本方針

- 子どもが健やかに育つ環境整備の推進
- 住み慣れたまちに快適に安心して住み続けるための支援
- 介護予防の推進及び安定した介護サービスを提供する体制の整備

要求のポイント

() は前年度予算額

<地域福祉>

- 総合的な相談支援

24,072千円
(21,610千円)

福祉サービス総合相談支援センターの運営に必要な経費を計上

 - ・ 一般相談、生活困窮者相談、障がい児者相談
- 低所得者への支援

640,001千円
(640,001千円)

適切な生活保護制度運営に必要な経費を計上

 - ・ 生活保護受給者への支援

<障がい者福祉>

○ 障がい者が安心して快適に暮らせる環境づくり

1, 998, 770千円
(1, 918, 518千円)

障害者総合支援法等に対応したサービス提供に必要な経費を計上

・障がい福祉サービス等の給付、障がい者就労支援事業の実施

<児童福祉>

○ 障がい児の健全な育成

288, 816千円
(278, 010千円)

障がい児の健全育成を支援するために必要な経費を計上

・障がい児の通所に対する支援

○ 安心して子育てができる環境の整備

460, 003千円
(279, 920千円)

子どもが健やかに育つ環境づくりに必要な経費を計上

・国府児童館の整備

・多世代同居するための住宅の新改築等に対する助成

○ 良好な保育環境の確保

2, 413, 325千円
(2, 258, 450千円)

良好な保育環境の確保に必要な経費を計上

・私立保育所16か所、公立保育所9か所

<高齢者福祉>

○ 高齢者の安全で安心な生活の支援

245, 936千円
(242, 591千円)

高齢者の安全で安心な生活や生きがいを支援するための経費を計上

・買い物、通院、掃除などの日常生活に対する支援

・長寿会活動に対する助成

・住宅のバリアフリー改修や屋根雪融装置の設置に対する助成

・温泉保養施設等の利用に対する助成

○ 老人福祉施設の運営

132, 302千円
(127, 166千円)

老人福祉施設の運営・維持管理に要する経費を計上

・福祉センター等の運営

○ 健全な介護保険事業の運営

8, 991, 003千円
(8, 949, 315千円)

介護認定、保険料の賦課徴収、介護給付に必要な経費を計上

・介護サービス等の給付、介護認定審査会の開催

○ 介護予防の推進及び包括的な支援の実施

489, 479千円
(480, 583千円)

高齢者の介護予防、包括支援体制の整備に要する経費を計上

・地域包括支援センターの委託

・要支援者等に対する介護予防・生活支援に関する事業の実施

・高齢者健康教室の開催、自主活動の支援、認知症施策の推進

・在宅で介護する家族に対する介護用品や慰労金の支給

市 民 保 健 部

要求額

単位：千円、%

会計名	平成28年度 当初予算額	平成29年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,811,489	1,912,449	100,960	5.57
国民健康保険事業 特別会計（事業勘定）	11,658,902	11,558,193	△ 100,709	△ 0.86
国民健康保険事業 特別会計（直診勘定）	214,063	180,450	△ 33,613	△ 15.70
後期高齢者医療 事業特別会計	1,116,640	1,157,515	40,875	3.66

主な増減理由

・後期高齢者医療負担金の増（一般会計）	16,600千円
・火葬場建設事業費の増	14,962千円
・救急医療施設運営費等補助金の増	30,800千円
・国保特別会計の保険給付費の減	△ 173,000千円
・国保特別会計の介護納付金等の増	86,000千円
・診療所電子カルテ整備事業費の減	△ 38,100千円
・後期高齢者医療広域連合納付金の増	29,867千円

要求に関する基本方針

- 新火葬場建設の推進
- 健康管理と疾病予防環境の推進
- 地域医療体制及び救急医療体制の充実
- 国民健康保険財政の適正化

要求のポイント

（ ）は前年度予算額

＜生活環境＞

- 火葬場の運営
 - 市営火葬場の維持管理に必要な経費を計上
 - ・火葬場の設備改修と維持管理
- 新火葬場建設の推進
 - 火葬場の建設準備に必要な経費を計上
 - ・新火葬場建設検討委員会の運営

＜保健・医療＞

- 国民健康保険財政の適正化 11,558,193千円
(11,658,902千円)

国民健康保険事業の円滑な運営に必要な経費を計上

- ・ 特定健康診査の受診率向上に向けた取り組みなど保険事業の推進
- ・ 国民健康保険の広域化に向けた対応

- 後期高齢者医療保健事業の充実 53,609千円
(42,700千円)

後期高齢者の健康増進のために必要な経費を計上

- ・ すこやか健診及びさわやか口腔健診の実施

- 市民の健康増進の推進 527,759千円
(510,488千円)

市民の健康増進のために必要な経費を計上

- ・ 健康診査、がん検診の実施
- ・ 妊婦健康診査に対する助成、乳幼児健診の実施
- ・ ウォーキングコースを利用した健康づくりの推進
- ・ 予防接種の実施
- ・ 不妊治療に対する助成

- 地域医療体制の充実 646,243千円
(642,697千円)

医師確保のための環境整備や救急医療体制の確保に必要な経費を計上

- ・ 医師等の確保、高度医療機器の整備等に対する助成
- ・ 直営診療所の運営
- ・ 休日診療所の運営
- ・ 在宅当番医制、病院群輪番制、救命救急センターの運営に対する助成
- ・ 24時間電話医療相談

＜行財政運営＞

- マイナンバー（個人番号）カードの普及促進 22,698千円
(8,919千円)

マイナンバー（個人番号）カードの普及に必要な経費を計上

- ・ マイナンバー（個人番号）カードの交付体制の確立と申請の啓発
- ・ 各種証明書のコンビニ交付の利用啓発

環境政策部

要求額

単位：千円、%

会計名	平成28年度 当初予算額	平成29年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	962,923	1,237,442	274,519	28.51

主な増減理由

- ・ 乗鞍山麓五色ヶ原の森新ルート整備による増 138,450千円
- ・ ごみ処理施設保守点検費の増 62,369千円

要求に関する基本方針

- 自然エネルギーによるまちづくりの推進
- 地球温暖化対策の推進による温室効果ガス排出の削減
- 自然と共生するまちを目指した生物多様性保全の推進
- 自然公園の適正管理による安全で快適な利用の推進
- 公害の発生防止
- ごみ処理施設の適正な維持管理

要求のポイント

() は前年度予算額

〈地球環境〉

- 自然エネルギー活用日本一を目指したまちづくりの推進

103,485千円
(106,123千円)

自然エネルギー活用の普及活動等に必要な経費を計上

- ・ 自然エネルギー活用の普及啓発
- ・ 積まマイカーの運行によるエネルギーの地産地消の促進
- ・ 木質バイオマスの活用に対する助成
- ・ 地域主導による自然エネルギーの活用支援

- 地球温暖化対策の推進

6,014千円
(5,700千円)

地球温暖化対策の推進に必要な経費を計上

- ・ 急速充電器の運営による電気自動車の普及促進

○ 生物多様性保全の推進 13,810千円
(9,155千円)

自然環境の保全や生物多様性保全の意識啓発に必要な経費を計上

- ・ 乗鞍山麓五色ヶ原の森を活用した自然環境学習
- ・ いのちの森づくり
- ・ 特定外来植物（オオハンゴンソウ等）の駆除

○ 自然公園の保全と活用 255,078千円
(86,971千円)

自然公園等の保全と利用の推進に必要な経費を計上

- ・ 乗鞍山麓五色ヶ原の森新ルートの整備
- ・ 山岳トイレの整備に対する助成
- ・ ジオパークの推進とユネスコエコパークの活用

〈生活環境〉

○ 快適に暮らせる環境の整備 5,326千円
(5,990千円)

公害発生の防止に必要な経費を計上

- ・ 河川水質の監視、騒音・悪臭苦情にかかる調査

○ 資源循環型社会の実現 848,253千円
(743,634千円)

ごみの収集、焼却、埋立、減量化、資源化や施設の維持管理等に必要な経費を計上

- ・ 小型家電の資源化
- ・ 長期修繕計画に基づくごみ焼却施設の保守点検

農 政 部

要求額

単位：千円、%

会計名	平成28年度 当初予算額	平成29年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	2,471,434	2,090,825	△ 380,609	△ 15.40
地方卸売市場 事業特別会計	31,100	28,453	△ 2,647	△ 8.51

主な増減理由

・ 集出荷施設等整備費助成事業費の減	△ 712,800千円
・ 獣害対策に対する事業費の増	117,598千円
・ 農業委員会運営費の増	5,553千円
・ 匠の家づくり支援事業費の増	21,120千円
・ 林道橋りょう一斉点検に係る経費の増	19,700千円
・ 飛騨高山森の仕事人養成塾に関する経費の増	9,074千円
・ 繁殖牛舎整備費助成事業費の増	18,630千円
・ 第11回全国和牛能力共進会への支援による増	10,565千円

要求に関する基本方針

- 活気ある農業生産地づくりと担い手の育成・確保
- 地域ぐるみでの農地・施設の保全と鳥獣被害対策の強化
- 地籍調査の実施による森林整備の促進
- 豪雪による倒木処理に対する支援
- 森林技術者の育成支援
- 全国和牛能力共進会宮城大会の好成績獲得への取り組み

要求のポイント

() は前年度予算額

<農業>

- 新規就農者や認定農業者の育成支援

162,703千円
(133,680千円)

 - ・ 農業の担い手確保、育成支援のために必要な経費を計上
 - ・ 経営開始した青年就農者に対する給付金の支給
 - ・ 機械、施設整備導入に対する助成

○ 農作物獣害防止対策の強化 274, 198千円
(156, 660千円)

鳥獣による農作物への被害を防止するために必要な経費を計上

- ・ 地域ぐるみの鳥獣被害防止活動や侵入防止柵の整備等に対する助成
- ・ 有害鳥獣捕獲隊の育成に対する助成
- ・ 射撃場の整備事業費に対する助成

<林業>

○ 地籍調査の推進 153, 519千円
(131, 176千円)

森林施業を促進する境界明確化のための経費を計上

○ インフラ長寿命化に伴う林道橋りょう一斉点検 19, 700千円
(0千円)

林道に架かる橋りょう点検に必要な経費を計上

○ 倒木処理支援事業の推進 140, 000千円
(120, 000千円)

豪雪により発生した倒木を処理する経費に対する補助

○ 森林技術者の育成支援 14, 774千円
(5, 700千円)

飛騨高山森の仕事人養成塾に対する経費を計上

<畜産業>

○ 畜産振興の推進 43, 175千円
(13, 980千円)

畜産振興を図るための必要な経費を計上

- ・ 第11回全国和牛能力共進会に向けた取り組み
- ・ 繁殖牛舎の建設に対する助成

商 工 観 光 部

要求額

単位：千円、%

会計名	平成28年度 当初予算額	平成29年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	2,879,251	2,633,630	△ 245,621	△ 8.53
観光施設事業 特別会計	94,753	141,182	46,429	49.00

主な増減理由

・ 起業家の受入環境整備による増	21,592千円
・ 地域経済構造分析調査の実施による増	10,537千円
・ 融資実績等を踏まえた預託金見直しによる減	△232,600千円
・ 企業誘致対策事業の減	△78,929千円
・ まちなか居住推進事業の減	△18,000千円
・ 観光施設等の整備に伴う増	85,452千円

要求に関する基本方針

- 中小企業の経営の安定化のための融資事業の推進
- 起業家の増加に向けた受入環境の整備
- 地域経済構造の分析
- 伝統的工芸品産業等の技術の継承、後継者育成に向けた施策の推進
- 中心市街地の活性化に向けた施策の推進
- U I J ターン就職する若者への支援
- 観光客500万人を目指した戦略的誘客宣伝事業等の展開
- 利用者の満足度向上や安全管理のために必要な観光施設の整備

要求のポイント

() は前年度予算額

<商業><工業><労働>

- 中小企業等融資事業の推進

1,436,901千円
(1,669,501千円)

中小企業者、勤労者向けの低利融資の実施に必要な経費を計上

- ・ 小口融資、経営安定特別資金融資
- ・ 勤労者生活安定資金融資

○ 起業家の受入環境等の整備 96,092千円
(74,500千円)

起業家の育成・支援に必要な経費を計上

- ・ 起業家に対する助成、創業支援資金融資
- ・ タウンマネージャー確保・育成、インキュベーション施設の整備・運営

○ 地域経済構造の分析 10,537千円
(0千円)

産業連関表の作成に必要な経費を計上

- ・ 地域経済構造分析業務の委託

<商業><工業>

○ 地場産品の販売促進活動の推進 18,848千円
(18,020千円)

地場産品等の積極的な宣伝・販路拡大に必要な経費を計上

- ・ 飛騨高山展開催事業に対する助成

○ 伝統的工芸品産業等の振興 54,026千円
(51,565千円)

伝統的工芸品産業等の振興、後継者育成等に必要な経費を計上

- ・ 後継者育成に対する助成
- ・ 伝統的工芸品産業振興団体に対する助成
- ・ 飛騨高山の名匠認定

<商業>

○ 中心市街地の活性化 54,410千円
(83,400千円)

にぎわいのある商業空間の形成と中心市街地の活性化に必要な経費を計上

- ・ まちづくり会社が行う中心市街地活性化事業に対する助成
- ・ 商店街等の環境整備に対する助成

<工業>

○ 企業誘致対策の推進 132,071千円
(211,000千円)

企業誘致を推進するために必要な経費を計上

- ・ 企業誘致促進制度による企業誘致活動

<労働>

○ 若者定住の促進 99,178千円
(92,650千円)

U I J ターン就職する若者への支援に必要な経費を計上

- ・ U I J ターン就職者に対する家賃・奨学金返済助成
- ・ U ターン就職者に対する報償金の支給

<観光>

○ 誘客宣伝の実施 250,478千円
(246,193千円)

観光宣伝、高山祭、各種イベントなど、誘客に必要な経費を計上

- ・ 広域連携誘客宣伝事業の推進
- ・ 飛騨高山ウルトラマラソンの開催
- ・ 観光関連団体の誘客宣伝事業等に対する助成
- ・ 若年層の合宿やゼミ宿泊誘致に対する助成
- ・ 山岳観光の推進
- ・ 日本遺産認定やユネスコ無形文化遺産登録を契機とした観光誘客事業の実施

○ 観光施設の運営 459,351千円
(373,899千円)

温泉施設、キャンプ場、スキー場等の運営及び施設整備等に必要な経費を計上

- ・ 観光施設の運営、整備
- ・ 飛騨の里の再整備計画策定調査の実施

基 盤 整 備 部

要求額

単位：千円、％

会計名	平成28年度 当初予算額	平成29年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	6,420,771	6,368,996	△ 51,775	△ 0.81

主な増減理由

・ 橋りょう耐震補強事業の増	44,500千円
・ 除雪対策事業の増	173,741千円
・ 中部縦貫自動車道関連整備事業の増	103,000千円
・ 都市計画図修正事業の増	48,100千円
・ 耐震補強工事補助金等の増	20,160千円
・ 景観形成事業補助金等の増	45,511千円
・ 高山駅周辺土地地区画整理事業の減	△ 366,303千円
・ 災害復旧事業の減	△ 115,500千円

要求に関する基本方針

- 駅周辺土地地区画整理事業区域と結節する基幹道路整備による交通環境の向上
- 高速道路網、地域間連絡道路網の整備促進による道路利用者の快適性向上
- 市民の生活と生命・財産を守るための災害に強い社会基盤整備の推進
- 道路などの安全性確保と道路網の健全な維持（地域要望への対応）
- 良好な景観の保全と創出の推進
- 安心・快適に住み続けられる居住環境の整備
- 高山駅周辺土地地区画整理事業の計画的実施
- 効率的で利便性が高い公共交通体系の確保

要求のポイント

（ ）は前年度予算額

<道路>

- 街路事業の推進

325,058千円
(506,754千円)

道路交通の円滑化と魅力ある市街地創出のための街路整備に必要な経費を計上

 - ・ 西之一色花岡線、高山駅東口線
- 道路新設改良事業の推進

544,168千円
(551,290千円)

道路交通の円滑化を図るための道路新設改良に必要な経費を計上

 - ・ 村上田頃家線（村上橋）、千島線、千島松本線、上切中切2号線ほか

○ 道路維持修繕事業の推進 495,600千円
(468,000千円)

道路の安全性確保や道路網の維持に必要な経費を計上
・道路修繕、側溝修繕、舗装修繕、橋りょう修繕

○ 除雪対策事業の推進 739,941千円
(566,200千円)

冬期間の交通確保を図る除雪対策に必要な経費を計上
・歩車道除雪委託、融雪剤購入、消融雪側溝整備

<防災>

○ 橋りょう耐震補強事業の推進 209,500千円
(165,000千円)

地震に強いまちづくりの推進に必要な経費を計上
・長寿命化修繕計画に基づく橋りょうの耐震補強を実施
(栗尾橋、土谷橋、千光寺橋、治右エ門橋ほか)

○ 普通河川整備事業の推進 173,000千円
(70,000千円)

豪雨災害の防止や河川周辺の良い生活環境の整備に必要な経費を計上
・普通河川整備、中部縦貫自動車道関連整備

<土地利用>

○ 高山駅周辺土地区画整理事業の推進 2,632,463千円
(2,998,766千円)

高山駅周辺土地区画整理事業に必要な経費を計上
・高山駅東口駅前広場整備、交流広場等整備、花里本母線整備、土地購入

○ 安全・安心な魅力あるまちづくりの推進 67,833千円
(24,183千円)

安全で安心して快適に住めるまちづくりに必要な経費を計上
・空家等対策事業の推進
・都市計画図の経年修正

<公共交通>

○ 生活に必要な公共交通の確保 204,554千円
(203,794千円)

バス運行等に必要な経費を計上
・まちなみバス、のらマイカーの運行
・観光特化型バス運行に向けた取組み

<景観>

○ 良好な景観の保全と創出の推進 80,464千円
(34,913千円)

良好な景観の保全と創出を推進し、地域資源として活用するための経費を計上
・景観基準の見直しに伴う集中的な取組みの推進

<住宅公園>

○ 良質な住宅環境の整備 67,670千円
(47,510千円)

耐震診断・耐震補強工事への支援をするための経費を計上
・建築物耐震補強工事に対する助成

水 道 部

要求額

単位：千円、%

会計名	平成28年度 当初予算額	平成29年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	232,226	250,124	17,898	7.71
下水道事業 特別会計	3,154,414	3,936,218	781,804	24.78
農業集落排水 事業特別会計	595,160	632,400	37,240	6.26
水道事業 会計	3,204,731	3,230,646	25,915	0.81

主な増減理由

・ 応急給水対策事業の増（上水）	24,214千円
・ 宮川終末処理場の焼却炉建設事業費の増（下水）	530,000千円
・ 移動式汚泥処理施設更新の増（下水）	100,850千円
・ 地方公営企業法適用経費の増（下水）	80,000千円

要求に関する基本方針

- 安全・安心な水を安定して供給するための施設整備及び経営の安定化
- 安全・安心な水を安定して供給するための水源の保全
- 生活環境の向上と公共用水域の水質保全
- 地域の特性に応じた下水処理施設の整備及び水洗化の普及

要求のポイント

（ ）は前年度予算額

<上下水道>

- 施設の耐震化と遠方監視機能の充実

240,362千円
(427,640千円)

 - 安全・安心な水を安定して供給するための施設整備に必要な経費を計上
 - ・ 導水施設耐震化、遠方監視装置整備

○ 基幹管路の耐震化と応急給水対策の推進 689,310千円
(437,597千円)

安全・安心な水を安定して供給するための施設改良に必要な経費を計上

- ・ 基幹管路の耐震化整備
- ・ 老朽管の布設替工事
- ・ 道路改良及び下水道整備に伴う布設替工事
- ・ 給水車の購入

○ 配水施設整備の推進 90,555千円
(100,837千円)

安全・安心な水を安定して供給するための配水施設整備に必要な経費を計上

- ・ 配給水区域の再編（まこも、鍋山、大洞）
- ・ 未給水地区の解消

○ 下水処理場焼却炉建設、マンホール蓋更新 1,048,588千円
(421,698千円)

生活環境の向上及び水質環境の保全を図るため下水処理施設整備に必要な経費を計上

- ・ 宮川終末処理場焼却炉の建設
- ・ マンホール蓋の更新

○ 特定環境保全公共下水道の管きょ布設、処理施設更新 271,045千円
(143,543千円)

生活環境の向上及び水質環境の保全を図るため下水処理施設整備に必要な経費を計上

- ・ 管きょ布設（国府町三川地区、奥飛騨温泉郷中尾地区）
- ・ 移動式汚泥処理施設の更新（上宝地区、奥飛騨温泉郷地区）

○ 農業集落排水施設の機器の長寿命化及び更新 41,787千円
(31,009千円)

農業集落排水処理施設の設備・機器の長寿命化及び更新に必要な経費を計上

- ・ 農業集落排水処理施設の長寿命化工事

○ 地方公営企業法の適用 80,000千円
(0千円)

地方公営企業法適用に向けた準備に必要な経費を計上

- ・ 下水道事業の固定資産調査及び評価
- ・ 農業集落排水事業の固定資産調査及び評価

会 計 室

要求額

単位：千円、%

会計名	平成28年度 当初予算額	平成29年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	898,756	891,469	△ 7,287	△ 0.81

要求に関する基本方針

- 効率的な基金及び歳計現金の運用
- 合理的な会計事務の推進

要求のポイント

() は前年度予算額

<行財政運営>

- 適正な会計事務の実施

1, 8 2 2 千円
 (1, 6 4 5 千円)

 効率的な出納事務遂行のための職員の研修会の実施
 歳計現金の適正な管理
- より有利で安全な基金の運用

8 7 9, 6 4 7 千円
 (8 8 7, 1 1 1 千円)

 基金の効率的な運用

監 査 委 員 事 務 局

要求額

単位：千円、%

会計名	平成28年度 当初予算額	平成29年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	7,530	7,854	324	4.30

要求に関する基本方針

- 市民の視点に立った公平公正な監査等の充実

要求のポイント

() は前年度予算額

<行財政運営>

- 適正な行財政運営に資する監査等の実施

6,526千円
(6,402千円)

監査等の充実に必要な経費を計上

議 会 事 務 局

要求額

単位：千円、%

会計名	平成28年度 当初予算額	平成29年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	30,159	31,688	1,529	5.07

主な増減理由

・全国和牛能力共進会応援等に伴う旅費の増

945千円

要求に関する基本方針

○ 市民にとって、わかりやすく開かれた議会運営

要求のポイント

() は前年度予算額

<行財政運営>

○ 円滑な議会運営

31,688千円
(30,159千円)

議会運営に必要な経費を計上

- ・議会・委員会等の開催
- ・政策提言の実施
- ・市民意見交換会（地域別・分野別）の開催
- ・議会広報紙の発行
- ・議会審議の中継
- ・議会情報及び会議録の公開
- ・議会関係事務

教 育 委 員 会

要求額

単位：千円、%

会計名	平成28年度 当初予算額	平成29年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	2,126,932	2,341,584	214,652	10.09
学校給食費 特別会計	388,800	378,100	△ 10,700	△ 2.75

主な増減理由

・小中学校校舎大規模改修事業費の減	△ 359,821千円
・小中学校の施設等修繕費の増	72,811千円
・幼児教育に要する経費の増	43,000千円
・教育系情報機器の更新等による増	15,291千円
・障がい児への支援強化に必要な経費の増	63,003千円
・伝統文化交流拠点施設整備事業費の増	255,899千円
・ユネスコ無形文化遺産登録記念事業費の増	20,000千円

要求に関する基本方針

- 教育の質や教育力の向上と、地域全体による郷土教育の推進
- 学びのセーフティネットの構築
- 地域文化の継承や歴史的町並保存の推進

要求のポイント

() は前年度予算額

<学校教育>

- 教育の充実 238,488千円
(160,292千円)

教育の充実に必要な経費を計上

- ・国際教育の充実
- ・個別指導体制の充実
- ・特別支援教育の推進
- ・あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施
- ・郷土教育（リーダー育成のためのキャリア教育）の推進

- 教育環境の整備 184,754千円
(173,820千円)

教育環境の整備に必要な経費を計上

- ・教材備品の購入
- ・吹奏楽備品の整備
- ・教育系情報機器の更新

○ 安全・安心・快適な学校施設等の整備 528, 880千円
(827, 600千円)

学校施設等の安全・安心・快適な環境整備に必要な経費を計上

- ・学校施設の大規模改修（本郷小、清見中学校校舎）
- ・スクールバスの更新

○ 幼児教育、高等教育の充実 120, 785千円
(77, 750千円)

幼児教育、高等教育の充実に必要な経費を計上

- ・私立幼稚園の就園に対する支援
- ・子ども子育て新制度への対応
- ・私立高等学校、短期大学等に対する助成

○ 安全・安心で魅力ある学校給食の提供 618, 170千円
(590, 224千円)

児童生徒の心身の健全な発達を図るために必要な給食運営経費を計上

- ・安全・安心でおいしい学校給食の提供
- ・学校給食センターの運営
- ・調理用機械器具の更新

<文化>

○ 地域文化継承への支援 22, 765千円
(2, 760千円)

地域の文化継承に必要な費用を計上

- ・歴史ガイドマスター養成
- ・ユネスコ無形文化遺産登録記念事業の実施
- ・ふるさと伝承記録整備
- ・伝承芸能保存団体に対する助成

○ 歴史的町並み保存の推進 80, 652千円
(80, 550千円)

歴史的な町並み保存の推進に必要な費用を計上

- ・伝統的建造物群保存地区保存対策に対する助成
- ・伝統的建造物群保存地区防災対策に対する助成
- ・歴史的建造物群耐震化対策

○ 歴史・文化活用の推進 276, 139千円
(20, 240千円)

歴史・文化を活用した地域づくりの推進に必要な経費を計上

- ・伝統文化交流拠点施設（旧森邸等）の整備

消 防 本 部

要求額

単位：千円、%

会計名	平成28年度 当初予算額	平成29年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	501,047	660,155	159,108	31.76

主な増減理由

- ・ 高機能消防指令台及び消防無線のデジタル化に伴う増 44,463千円
- ・ 消防車両更新等に伴う増 60,874千円
- ・ 消防団員の退職報償金の増 33,896千円

要求に関する基本方針

- 市民の安全・安心を確保するための消防装備等の充実強化
- 消防団員の安全確保と消防団施設や資器材の整備による団活動の充実及び団員の士気高揚、団員の確保

要求のポイント

() は前年度予算額

<消防>

- 消防本部の運営 122,455千円
(72,999千円)
消防本部の運営に必要な経費を計上
 - ・ 消防指令台及び消防無線のデジタル化に伴う保守経費
- 消防車両の更新 130,874千円
(70,000千円)
消防車両の更新に必要な経費を計上
 - ・ 高規格救急車、消防団ポンプ車
 - ・ はしご車の分解、整備
- 消防団活動の充実 281,470千円
(242,831千円)
消防団活動に必要な経費を計上
 - ・ 消防団員出動報酬
 - ・ 消防団員退職報償金
 - ・ 入団促進